



いきいき財団Topics

ジェンダー平等の実現、ダイバーシティ推進に向けて、こんなことに取り組んでいます！

1 コロナ禍で不安や孤独を感じる女性をサポート 大阪市 コロナ禍における困難・課題を抱える女性に対する支援事業

国の自殺対策白書によると、2020年の女性の自殺者数は7026人。前年より935人(15.4%)増えています。なかでも、「働く女性」の自殺者数は過去5年間の平均値と比べて増加。コロナ禍の労働環境の変化で、非正規雇用やサービス業の割合の高い女性が増えている現状が伺えます。「つらい気持ちを誰にも話せない」「どこに相談すればいいかわからない」。大阪市では、そんな女性に寄り添う事業をスタートさせました。大阪市男女いきいき財団は、長年の相談実績を生かし事業を受託。LINE相談や生理用品の配布を通じて、女性の不安や孤立の解消に取り組んでいます。

女性のつながりサポートLINE相談

「電話や面談はハードルが高い」という人でも、SNSなら自分のタイミングで気持ちを表現できるという場合も。時代のニーズに合わせ、LINEで相談に応じます。専門相談員が悩みや気持ちを伺い、場合によっては支援機関につなぎます。



まずは
友達登録を



《相談日》

水曜日：14時～20時、日曜日：10時～16時

生理用品のお渡し

クレオ大阪や各区自立相談支援窓口などに、相談へ訪れた方のうち、希望者を対象に生理用ナプキン(1パック28個入)をお渡ししています。経済状況が悪化する中、さまざまな理由で、生理用品を手に入れることができない「生理の貧困」という言葉も広く知られるようになりました。節約のためにナプキンを長時間取り替えないでいると、皮膚の炎症など健康を脅かすことも…。生理用品は女性にとって必需品。困っている方に、少しでも役立てていただくための取り組みです。

生理痛は病気？
生理用品は
1日いくつ必要？

ちなみに！

情報誌クレオに掲載

性別を問わず知っておきたい

生理に関するQ&A →



大阪市男女いきいき財団は、堺市でも「困難を抱える女性への支援事業」を受託し、女性サポート相談（SNS・面接・電話・訪問・同行支援など）や生理用品の配布を行っています。



2 人と組織の成長をお手伝い 企業会員サービス「Work support Plus」



2021年8月に、クレオ大阪中央で実施した企業向けハラスメント防止研修には20社が参加。個別相談会では、弁護士や財団職員がそれぞれの職場でのお悩みにお応えしました。

パワハラ防止法に基づく職場でのハラスメント対策が、2022年4月から、従業員300人以下の中小企業でも義務化されます。担当者の皆さん、ハラスメントの相談窓口や社内研修など、準備は進んでいますか？

そのお悩み、ぜひ大阪市男女いきいき財団にお任せください。企業会員サービス「Work support Plus」では、働く人のワーク・ライフ・バランスや女性の活躍推進を実現して、誰もが働きやすい職場・働き続けたい職場づくりをお手伝いします。ご要望に応じて、必要なサポートを必要な分だけカスタマイズしてご利用いただけます。まずは、お気軽にお問合せください。

《お問合せ》

大阪市男女いきいき財団 TEL:06-7656-9040



3 音楽で 心温まるひとときを クリスマス音楽パーティへようこそ！



もうすぐクリスマス。暗い気持ちになるできごとも多い昨今ですが、1年の締めくくりに音楽コンサートで、心温まるひとときを過ごしませんか。

日にち：12月4日(土)
【第1部】親子でわくわく！クリスマス 11時～
【第2部】大人のロマンティッククリスマス 14時～
場所：クレオ大阪中央
参加費：無料
主催：大阪市男女いきいき財団
協賛：大阪地下街株式会社

